



すてい~る

目次

●特集 第3回定時総会

●「第3回定時総会」を開催	1
●支部だより 支部総会開催	5
●青年部会「第3回定時総会」をバンコクで開催	7
●新理事訪問 勝野 茂 三和特殊鋼(株)代表取締役社長	8
●「はがねの日」記念行事	9
●平成26年度特殊鋼販売技士1級資格認定式	11
●いま世界へ! 各社が取り組む海外展開事例—ウメトク株式会社	13
●理事会・委員会報告	14
●事務局だより・編集後記	裏表紙



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail info@zentokkyo.or.jp

「第3回定時総会」を開催



平成27年6月1日(月)、全特協は福岡県福岡市博多区の「ホテルオークラ福岡」において、第3回定時総会を開催した。正会員50社(委任状提出正会員数148社)、賛助会員等110名の出席を得た会場では、以下の各議案が審議され、原案どおり満場一致で承認された。

- 第1号議案 平成26年度事業報告書及びその付属明細書承認の件
- 第2号議案 平成26年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの付属明細書承認の件
- 第3号議案 平成27年度事業計画、収支予算について報告する件
- 第4号議案 理事の辞任に関する承認の件
- 報告事項 協会創立20周年記念行事について

新支部発足、周年記念行事など新たな取り組みを報告

第1号議案の事業報告のうち「各支部での活動状況」の中で、大阪支部の活動として3月10日(火)に「広島地区入会説明会(本部との連携開催)」が報告された。これは、中国地方での未加入企業に向けた説明会で、25名の出席を得て開催。その後、広島地区を中心とした中国地方の多数の企業に検討してもらった結果、当協会への参加意思が得られたので5月27日、広島市で「中国支部(仮称)発会式」を開催。中国地区15社・16事業所の正会員および賛助会員で新支部が発足したことが報告された(詳細4ページ)。

第4号議案では、員外理事の東部金属熱処理工業組合事務局長・鈴木健司氏が一身上の都合により辞職を申し出たことを報告し、承認。これにより協会の理事数は20名(うち員外理事8名)となった。

「協会創立20周年事業について」については、平成28年は当協会が社団法人として認可されてから20周年を迎えるにあたり、来年の第4回定時総会(東京開催)において記念講演会や記念祝賀会などを行うとともに、周年記念誌を発行するなど、全特協創立20周年の記念行事を行う予定であることが報告された。



会長あいさつ

一般社団法人全日本特殊鋼流通協会 会長 佐久間貞介

新会員を積極的に募るなど、20周年に向けて会員の団結を一層強固に、 全国組織として拡大をめざす



本日の総会は一般社団法人の認可を受けて3回目の定時総会となり、全特協としては初めての九州地区での開催となります。開催準備に当たっては、幹事役の名古屋支部と当地での開催にご尽力いただいた九州支部の皆様には厚く御礼を申し上げます。

全特協の生い立ちを考えると、大正末期に東京・名古屋・大阪など各地域のハガネ商組合から活動が始まり全国

組織となって、特殊鋼販売組合連合会を経て、今日の全特協があります。このように長い歴史をもつ当協会ですが、その伝統を守りつつ将来に向けて発展していく必要があります。

そのためには、当協会の組織を拡充し、強固なものにしていかねばなりません。具体的には新会員を積極的に募り、特殊鋼を扱う仲間が一人でも増えるよう努力しているところです。先日も大阪支部の尽力で、中国地方の会員に多数ご参加をいただき新支部を設立しました。地域の会員がまとまることにより、協会組織はもとより業界全体が強固なものになると考えています。

総会での事業報告にもありましたように、当協会は人材育成事業をはじめ、さまざまな事業を積極的に推進しています。人材育成事業の特殊鋼販売技士・販売加工技士に認定を受けた多くの方々には、研修で学んだ知識を活かして営業などの第一線で活躍されています。そのほか毎年行われる海外研修で

は、ヨーロッパを中心に先進国の特殊鋼流通事情などについて現地視察を行っています。また、各支部においても独自に事業を企画し、野球大会やボウリング大会、家族向けコンサート、著名人を招いた講演会、社員研修などの活動を活発に行っています。

多くの仲間にご参加いただくためにも当協会の活動を、ますます魅力あるものにしななければなりません。流通業界として信頼を醸成するにはどうしたらいいか、さらには業界発展につながるために何をすべきかを考え、地域の会員とも交流を深めながら魅力ある活動を展開していきたいと考えています。

来年は、当協会が社団法人の認可を受けてから20年という節目の年に当たります。来年の総会では、ささやかですが20周年を祝う記念行事の準備を始めています。これを機会に、会員の皆様の団結を一層強固なものにするために、全特協を全国組織として拡大するために鋭意努力する次第です。



講演会「福岡・博多観光ワンポイント物語」

～ふるさとのかたりべ～
郷土史研究家 岡部定一郎 氏



総会終了後は、福岡の郷土史研究家で「福岡市民の祭り振興会・理事」「博多古謡那能津会・会長」などを務めながら、福岡の文化・芸能に関する知識と企画力で、福岡県観光アドバイザーや福岡市イベントアドバイザーとしても活躍される岡部定一郎氏から、博多どんたくや博多祇園山笠などに代表される祭りから多彩な食文化まで、多岐にわたる郷土の魅力を紹介していただいた。岡部氏は「海に開かれた開放的な西日本最大の都市」と、福岡・博多の立地と歴史から紐ときながら、「さまざまな出来事、出会いからできあがった街」と強調。その魅力を「古代日本誕生のふるさと」「神社・仏閣に祭りが多い」「海外貿易の港町」「グルメ発信基地」など7つのポイントから解説。古代から現代に至るまでの歴史の知識と祭り文化への造詣の深さで、福岡・博多の観光に役立つ、地元でしか得られない貴重な内容をご講演いただいた。

懇談会



総会・講演会の後は、ご来賓の大同特殊鋼・常務取締役、立花一人様よりご祝辞をちょうだいし、今回の総会の幹事役を務めた樋口芳・名古屋支部長(辰巳屋興業・代表取締役社長)による乾杯発声で懇談会を開催。九州地区の特殊鋼関連の業界人を中心とした活気あふれる懇談が行われ、盛況のうちに津村春美・九州支部運営委員(三鋼販西日本)による中締めで散会となった。

ご来賓あいさつ



大同特殊鋼(株)常務取締役
立花一人 様

特殊鋼は、自動車、産機・建機の重要保安部品、あるいは新幹線や飛行機というモノづくりに欠かせない素材であり、日本の基幹産業を支える基盤です。さらに今後は、環境問題対応もキーワードになってくるはずで、お客様からのニーズも高まるはずです。メーカーサイドはモノづくりをしっかりとやっていますが、お客様が満足できるサプライチェーンづくりは、全特協の皆様とともに一体感をもってやっていかねばなりません。顧客サービスの満足度を高め、よりよい特殊鋼業界をつくりあげていくため、今後とも、よろしく願いいたします。

乾杯発声



全特協・名古屋支部長
樋口芳

九州支部の方々のお力があってこそ、初めてこのようないい催しができたものと感謝申し上げます。また、日ごろより私たち流通業界をさまざまな形で助けていただいているメーカーや商社の皆様、ほんとうにありがとうございます。その御会社のますますの発展と今日ここにいらっしゃる皆様のご健勝、そして私たち全特協の会員各社が、さらに儲かりいい会社として発展するよう祈念して乾杯したいと思います。

中締め



全特協・九州支部運営委員
津村春美

九州支部は、福岡市や北九州市の正会員5社、支部会員11社、賛助会員8社で構成しています。主な行事としては、4月の「はがねの日」記念事業として清掃ボランティア活動とスポーツ観戦を行っており、今年は110名に集まいただきました。参加人数が増えれば集めるゴミの量も増えていて、福岡市早良区の清掃局からは「毎年、お疲れさまです」との言葉をいただき、私たちの活動が認知されています。ほかには人材育成事業、九州ステンレス協会との共催でゴルフ会、交流会、工場見学、講演会を行っています。九州支部は各社様ご協力のもと魅力ある支部をめざしていますので、今後ともご支援よろしく願いいたします。

懇親ゴルフコンペ&バス見学会

総会の翌日6月2日(火)は、有志によるゴルフコンペとバス見学会を、それぞれ開催しました。

■懇親ゴルフコンペ

会場となったのは日本オープン開催の名門コース「古賀ゴルフクラブ」。当日は、最後の2～3ホールでにわか雨があったほかは天候に恵まれた絶好のゴルフ日和。参加8組32名は、タフネスさを要求されることで知られる難関コースにチャレンジし、全員が元気よくホールアウトした。コンペの結果は、NET72.4で井上特殊鋼の井上寿一社長と大同DMソリューションの古東一仁取締役営業本部長が並んだものの、年齢差で井上社長が優勝。3位には、ベストグロス賞(GR82)を獲得した松井鋼材の松井義社長が入賞。僅差白熱した中でも和気あいあいと懇親が深められたコンペとなった。



■バス見学会

チャーターバスで、日本三大松原として知られる「虹の松原」などの名所を通過見学後、日本三大朝市である佐賀県唐津市の「呼子朝市」を見学。「波止岬」で玄界灘を展望した後は、現地の名物である「呼子のイカ」を使ったイカシューマイの製造工場を見学するなどした。



全特協に新支部が発足 ～中国支部(仮称)発会式～

《中国支部(仮称)会員名簿》 (50音順)

会員区分	会社名
正会員	井上特殊鋼(株)広島営業所
	ウメク(株)広島営業所
	(株)カムス広島出張所
	小山鋼材(株)広島営業所
	大同DMソリューション(株)広島チーム
	南海鋼材(株)広島事業所 福山営業所
	野村鋼機(株)広島支店
	日立金属工具鋼(株)西日本支店
	深江特殊鋼(株)
	陽鋼物産(株)西日本支店
賛助会員	岡谷鋼機(株)中国支店
	鎌田特殊鋼(株)
	佐藤商事(株)福山支店
	山陽特殊製鋼(株)広島支店
	日鐵鋼業(株)

15社16事業所

全特協では、大阪支部が中心となって進めてきた中国地方の未入会企業を対象にした入会勧誘活動で、まとまった企業数の賛同が得られたため「中国支部(仮称)」の新設を決定。平成27年5月27日(水)に、広島市のシェラトンホテル広島で発会式を行った。発足時の会員数は中国地区に本社や営業拠点を置く15社・16事業所。中国支部の会員各社や全特協からは林健三・専務理事、発足準備に携わった大阪支部の関係者ら24名が出席した発会式では、支部規定運営などの説明と確認の後に支部会員の互選で支部長選出が行われ、深江特殊鋼・代表取締役の木村雅昭氏が初代支部長に就任した。

木村支部長は「楽しく参加できる支部づくりを第一に活発な活動を図りたい。支部活動を通じて仲間同士が過当競争に陥ることなく互いに尊重し、それぞれ繁栄できるモデル地域にしていきたい」などとあいさつ。今後、副支部長や支部運営委員を選出し、事務局設置なども行いながら、平成27年度中に本格的な活動に開始する予定となっている。



支部だより

支部総会開催

東京支部 開催日時：平成27年6月16日(火) 開催場所：東京銀行協会「銀行倶楽部」 出席：64社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

第1号議案 平成26年度事業報告書(案)及び同年度収支決算書(案)承認の件
監査報告

第2号議案 平成27年度事業計画書(案)及び同年度収支予算(案)承認の件



報告事項として林健三専務理事より、今後の協会活動活発化のため全国組織として再編を図る目的で、管轄エリアや支部名などの変更を含む「今後の支部組織の検討」について説明があった。基本的な考え方は、すべての都道府県をカバーし、各支部の名称を管轄地域に見合ったものにするなど、新組織としての新基準などを、今後設置される検討委員会や総務委員会等で議論し、来年度には新組織名でスタートすることをめざすとした。

総会後の懇親会では碓井達郎支部長(碓井鋼材・代表取締役)が「本年度も昨年度に引き続き、変わらぬ優秀なスタッフとともに支部を盛り上げていきたい。個性豊かな会員各社の一致団結で盛会にさせていただきようお願い申し上げます。来年予定されている20周年記念事業も東京支部が中心となっていくはず。ぜひご協力を」と呼び掛けた。その後、竹内誠二協会顧問(竹内ハガネ商行・代表取締役社長)のキャッチフレーズ「入っていたよかった全特協、参加してなおよかった東京支部」に合わせて乾杯。活気あふれる歓談の中締めは三上聰彦協会顧問(ノボル鋼鉄・取締役社長)の「全特協も来年で20周年。この間の環境変化で組織の見直しや再構築が検討されていますが、東京支部の皆さんが元気に、そうした活動の中心になっていただきたい」とあいさつして散会となった。

大阪支部 開催日時：平成27年6月16日(火) 開催場所：ザ・リッツ・カールトン大阪 出席：96社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成26年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②平成27年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
- ③会員異動



定時総会後の懇親会では、福原實晴支部長(南海鋼材・代表取締役社長)が「専門の工具鋼は悪くはない。でもそんなによくもない。ただひとつ期待が持てるのはリーマン・ショック後、約半分になっていた設備投資額が、昨年からの円安株高で増え続け、今なお増え続けている。国内の設備投資が増えれば、当然、ものづくりが盛んになってくるわけで、特殊鋼の需要も増えてくる。そんなふうに期待しています。」とあいさつ。支部長として実現したかったことの4つのうち①公益性の高い行事、②新しい研修講座、③中国支部の立ち上げは実現できた。あとは文化祭をぜひ実現したいとあいさつした。

次に来賓を代表して、特殊鋼倶楽部大阪支部長の榮山博之氏(山陽特殊製鋼・常務取締役)が「自動車関連の在庫調整、生産のグローバル化ということもあり油断は禁物。そういう中で我々の武器は世界一の品質を保持する特殊鋼。世界一の仕組みを誇るサプライチェーン。非価格競争力を基本としたプレゼンス力。これらで十分勝負できると思っています」とあいさつ。高木博郁氏(愛知製鋼・大阪支店長)の乾杯の発声後何度も大きな拍手と笑いで包まれた懇親会は、齊賀芳光運営委員(扇鋼材・代表取締役)の「入って良かった全特協。やってみなはれ大阪支部」との中締めで盛り上がりの余韻を残しつつ散会となった。

名古屋支部 開催日時：平成27年6月17日(水) 開催場所：レセプションハウス名古屋通信会館 出席：82社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成26年度事業報告(案)・決算報告書(案)
- ②平成27年度事業計画(案)・収支予算書(案)



昨年に引き続き佐橋健一郎総務部会長(サハシ特殊鋼・代表取締役社長)の司会により会は進行。樋巳芳支部長(辰巳屋興業・取締役社長)が「今月初めに本部総会を福岡で開催しました。おかげさまで、約100名の会員の方がご出席して下さり、無事本部総会を終えることができました。本日はお忙しいなか、また名古屋駅周辺が工事中のところ、出席して下さり、ありがとうございます。日頃は、名古屋支部の運営を皆様のおかげで、何とかやっております。色々なご要望があると思いますが、忌憚ない意見をどんどん言って頂き、もっと会員が交流できる支部にしたいと思っております」とあいさつした後、本部・林健三専務理事より全特協の組織変更について説明がなされ、各議案が滞りなく承認された後、嶋田明彦氏(中部経済産業局・製造産業課長)のご祝辞を頂戴し、総会は閉幕した。

続いての、落語家・笑福亭學光(しょうふくていがっこ)氏による「笑って笑って お元気に！」と題した講演会では「現代のテーマは健康。その健康は、笑うことによってNK細胞が増えて、病気にも勝てる、という世の中の医者のお説。だから、みなさん、笑って元気に過ごしましょう」との話の後、腹話術、落語で大いに笑わせて頂いた。

東北支部

開催日時：平成27年6月25日(木)

開催場所：山形 天童ホテル

出席：24社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成26年度事業報告(案)・決算報告書(案)
- ②平成27年度事業計画(案)・収支予算書(案)

議事は滞りなく承認された。冒頭の日下俊之支部長(クサカ鋼材・代表取締役社長)のあいさつでは、今後の運営体制として「東北支部の現状に沿うような、また先を見据えた組織作り」、「会員の皆様と共に考えて魅力ある支部運営を目指していきたい」の2点があげられ、「今年の秋には北関東支部との合同工場見学会を東北にて予定している。工場見学会も当然のことながら他支部会員様との交流を深め、有意義な見学会としたい。」と意欲を示した。



北関東支部

開催日時：平成27年6月7日(日)

開催場所：ホテル木暮

出席：28社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成26年度事業報告(案)・決算報告書(案)・監査報告
- ②平成27年度事業計画(案)・収支予算書(案)

鈴木至典副支部長(鈴木機械・代表取締役)の開会宣言に始まり、長谷川弘和支部長(長谷川ハガネ店・代表取締役社長)はあいさつの中で、「昨年は東北支部と合同で、富士重工業と日野自動車を見学しました。本年は、東北方面の合同工場見学を行う予定です。」と意欲を示した。

第二部の市況説明会は、伊藤秀史氏(大同特殊鋼・工具鋼営業部東京営業室室長)をお招きして直近の業界動向についてのお話を頂いた。続く懇親会は、会員相互の親睦を深める良い機会となった。



静岡支部

開催日時：平成27年6月18日(木)

開催場所：ホテル寛一

出席：16社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成26年度事業報告(案)・決算報告書(案)・監査報告
- ②平成27年度事業計画(案)・収支予算書(案)

司会の浅井達也副支部長(佐久間特殊鋼株)の開会の辞で始まり、原博康支部長(東泉鋼機・代表取締役)の議長のもと議事は滞りなく承認された。その後、本部の林健三専務理事により、今後の支部活動の在り方や新しく広島地区が参加する経緯などが説明された。

懇親会は、原支部長のあいさつ、林専務理事の乾杯の音頭により、和やかに懇親の輪が広がるうちに散会となった。



九州支部

開催日時：平成27年6月19日(金)

開催場所：ホテルセンターザ博多

出席：17社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成26年度事業報告(案)・決算報告書(案)
- ②平成27年度事業計画(案)・収支予算書(案)

渡邊洋一支部長(ユアーズスチール・代表取締役)が議長を務めた総会では、すべての承認がされた後、本部の林健三専務理事により、今後の支部活動の在り方、広島地区支部化の経緯などが説明された。

特殊鋼販売技士1級認証式を挟んだ後の懇親会では、互いの親睦を深め、終始和やかなうちに散会した。



青年部会「第3回定時総会」を バンコクで開催

15回目の節目となる総会を海外視察とともに 新部会長に古池晃氏を選出する

平成27年6月11日(木)、青年部会はタイ・バンコクの中華レストラン「Lin-Fa」で部会員23名の参加を得て、第3回定時総会を開催した。

冒頭、樋田浩三(三悦・代表取締役)部会長が「本年は一般社団法人となって3回目の総会だが青年部会トータルでは15回目という節目のため、思い切ってバンコクで開催した。半年前から準備にご協力いただいた関係各位に感謝申し上げます」とあいさつし、6月1日の本部定時総会で報告された平成27年度の事業計画を説明した。

青年部会総会では「平成26年度事業報告および収支報告」「平成27年度事業計画(案)および収支予算(案)」「平成27年度の運営委員の選任(案)」が審議・承認された。部会員の移動については退会3名、新規加入会員8名があり、青年部会会員数は55名となった。

【新規加入会員】

- 東京支部：森田泰嘉(森田産商・常務取締役)
- 大阪支部：猪川晋平(イカワ鋼材)、吉田祥太(桜川鋼材商会・主任)
- 名古屋支部：熊谷憧一郎(クマガイ特殊鋼・代表取締役社長)、佐久間崇透(佐久間特殊鋼・営業グループ長)、榎芳之(辰巳屋興業・係長)、大藪隆司(服部鋼商店)、川本哲也(川本鋼材)

【運営委員の選任】

- 退任：樋田浩三(三悦・代表取締役)、澤津橋聖司(司鋼商会・代表取締役)
- 新任：森田泰嘉(森田産商・常務取締役)、吉田道弘(吉田興業・代表取締役社長)、田島寛将(テクノタジマ・取締役製造本部長)、熊谷憧一郎(クマガイ特殊鋼・代表取締役社長)

引き続き、平成27年度運営委員による第7回運営委員会が開催され、新部会長に大阪支部の古池晃氏(古池鋼業・代表取締役)を選出。10人目となる新副部会長に名古屋支部の保田憲秀氏(トクホウ精鋼・取締役副社長)を新任した。

総会の翌12日はチャーターバスで以下の4社を視察した。

- ・AIT(アイチ・インターナショナル・タイランド)／熱間鍛造品製造工場
- ・サクマ・タイランド／鋼材・部品倉庫
- ・ニホンパーツ・タイランド／冷間鍛造品製造工場
- ・フジマキ・スチール・タイランド／プレート製造工場

工場見学を行うとともにタイの政情や経済状況、雇用状況などの説明を受け、有意義な海外視察となった。

古池晃 新部会長 あいさつ



青年部会は設立準備委員会から15年経ちますが、当時のメンバーの半数近くは、青年部会を卒業されたり、親会である本部や支部の役員に就任されています。私は設立当時の原点に帰り、初代部会長の木村雅昭氏が言われた「参加してよかった青年部会、入っていますますよかった全特協」の精神でがんばってまいりますので、部会員の皆様のご協力をお願いいたします。



AIT小島社長との記念撮影

見学先のサクマ・タイランド(上)とフジマキスチール・タイランド(下)

新理事訪問

三和特殊鋼株式会社
代表取締役社長 勝野 茂

業界、協会そして社業ともに 次世代継承を念頭においた諸施策に取り組む



■組織強化、業界の魅力発信など協会のステータス向上をめざす

昨年6月の佐久間新体制発足とともに本部理事に就任した勝野茂氏。これまでは、大阪支部の青樹会委員長や人材育成部会長を務めるなど支部活動メインだったが、平成25年度まで人材育成委員会委員長だった佐久間会長とともに人材事業に携わってきた縁から総務担当理事となった。

「引き続き、佐久間会長のお役に立てればと思います。今回は中国支部が発足し、来年の設立20周年事業の準備に入るなど、組織強化や協会のステータス向上など取り組むべきテーマは多い。国内市場が縮小する中、業界としても協会としても次代の人材獲得・育成のために魅力を伝えていけるような活動ができれば」と抱負を語る。

■丸棒メインの豊富な在庫力と機械加工まで一貫した加工・納入体制

昭和34(1959)年設立の三和特殊鋼は、冷間鍛造金型向けをメインとした工具鋼のほか構造用鋼などを取り扱う。主力となるのは冷間・熱間工具鋼の丸棒で、太丸から細丸まで多彩な在庫を取りそろえることで、多様なニーズに迅速な対応をみせている。

「在庫力に対応するため、最新のCNC切断機をはじめとした鋸盤を22台整備し、切断からデリバリーまで迅速な納入体制を築いています」

加えて、NC旋盤10台を配備した機械加工工場も併せ持つことで、鋼種・寸法とも多彩な丸棒鋼材に、下穴あけ加工など複雑な形状加工やフライス加工などを施し、他社との差別化を図っている。

「丸棒は素材納入のウエートが高いジャンルなので、ユーザーニーズにマッチした付加価値をプラスすること

で、工具鋼の流通・加工業者として強みを発揮しているのではないかと自負しています」と胸を張る。

■中期経営計画の実行など次代を意識した経営改革にも着手

創業者である父・政男氏から経営を引き継いで15年。これまでは先代が築いた事業を守りながら着実な成長を心掛けてきたが、次代への継承を意識した経営改革にも取り組んでいる。

設立50周年を迎えた翌年の平成22(2010)年には、中期3ヶ年経営計画を策定し、現在は第二次計画の仕上げの年となっている。また、昨年からは本格的な新卒採用も開始して長期的なエンジニアの育成のほか、これまでセールスとデリバリーが一体だった営業職の業務分離を図るなど、より商社化へ志向した組織改革を行っている。

■社員一人ひとりに思いを寄せる創業以来の“人重視”の経営も

そうした経営改革の一方で、先代以来の『社員あっての会社と社長』『社員を幸せにすることが社長の役目』とのモットーを意識し、たとえば毎月支給する給与明細には、社員一人ひとりに

自ら考えたコメントを寄せている。

『第一子誕生おめでとう。責任も増しますが自身を成長させ実りのある人生を！』『新卒も加入し設備も増設します。人格者の主任としてさらなる活躍を！』といった具合にだ。

「次の社長にバトンタッチするまでに、少しでもよい会社になりたいという思いです。将来的には海外展開も視野に入れなければいけません。そのためには国内でもっと力をつけなければ」と語る勝野社長。

今期も継続している新卒者採用も、多様な人材獲得をめざしていくとともに、「経営者として『雇用に貢献し、1人でも多くの社員を幸せにする』ことができれば、これに勝るよこびはありません」と、めざすべき三和特殊鋼の形を力強く語ってくれた。



φ13の細丸からφ532の太丸まで豊富な在庫量を誇る

◎経歴

昭和32年1月、大阪市生まれ。滋賀大学卒業後、日立金属と日栄鋼材を経て、昭和59年に三和特殊鋼入社。平成元年に専務取締役、平成12年2月に代表取締役社長に就任。

◎ゴルフ

「基本的に好きなので、うまくはないが運動不足解消、気分転換のためにホームコース(京都・田辺CC)を中心にプレイする」とのこと。来春大学院を卒業予定の長男には、「業界コンペで優勝できるように、しっかり練習してうまくなっておけ」ということで本人も興味をもったので現在では妻、次男とともに家族4人でラウンドしている。

◎趣味

大学部活時代からの囲碁は「卒業時は三段だったが現在の實力は初段程度」とのこと。プロ野球は「サンケイ時代からのスワローズファン」で「出身校(四條畷高校)の校技として盛んだったので」ラグビーなどスポーツ観戦も熱心。

「はがねの日」記念行事——「はがねの日」イベントレポート——

東京支部 4月22日(水) 第11回ボウリング大会 於：東京ドームボウリングセンター

参加者数：100名

[成績]2ゲームトータルピン数・4人1組
(女性はHC10ピン／1ゲーム)

[団体の部]

優勝	清水特殊鋼	1416ピン
準優勝	藤田商事	1208ピン
3位	日立金属工具鋼	1107ピン

[個人の部・男子]

優勝	月花 淳也(藤田商事)	422ピン
準優勝	近藤 亮二(清水特殊鋼)	391ピン
3位	竹中 清(清水特殊鋼)	365ピン

[個人戦・女子]

優勝	石野奈央子(清水特殊鋼)	361ピン
準優勝	御代川玲子(藤田商事)	318ピン
3位	角田 直子(日立金属工具鋼)	275ピン



第11回となったボウリング大会は20社・25チームが参加。確井達郎大会会長、山田雅郎実行委員長、大塚章平実行委員による始球式で開幕。日ごろの練習の成果を発揮した白熱のゲームの結果は、清水特殊鋼が三連覇を果たした。また、個人の部・女子で圧倒的な強さを誇る石野奈央子さんは大会7連覇となり、記録を更新中。ゲーム終了後には懇親会も行われ、会員企業同士の親睦も深まった。



大阪支部 4月25日(土) ファミリーコンサート 於：大阪市中央公会堂

入場者数：660名

はがねの日のイベントとして5回目を迎えたファミリーコンサート。昨年同様、京都大学交響楽団OBを招いて開催した。開演に先立ち、福原実晴支部長は「レトロな空間で幻想的な弦楽器の響きを楽しんでほしい」とあいさつ。「花のワルツ」などのクラシックに「宇宙戦艦ヤマト」や「鉄腕アトム」、「アナと雪の女王」のテーマ曲などなじみの曲の数々の演奏の後、前回好評を博した指揮者体験コーナーを今回も設け、小学生数名が順に「くるみ割り人形」の指揮にチャレンジし、大きな喝采を浴びた。





[成績]2ゲームトータルピン数・3人1組
(女性はHC20ピン／1ゲーム)

総合優勝	桜井興産さくらチーム	954ピン
2位	愛鋼Aチーム	936ピン
3位	川本鋼材Kuchidakeチーム	853ピン
個人優勝		
男性	川本鋼材 大橋 健太	369ピン
女性	桜井興産 西野 芳子	341ピン

多数の参加申し込みがあり、急遽レーンを増やしたがそれをも上回りお断りした会員会社もあった。

白熱したゲーム終了後は、榎支部長の乾杯の音頭で懇親会へ。飲んで食べて、他社との交流を深めた後、恒例の特殊鋼に関する三択クイズがチーム対抗で行なわれ、大いに盛り上がった。

本年度は、場所を変えて館林スポーツレーン(群馬県館林市)にて開催。64名の参加があり、各レーンで和気あいあいとゲームを楽しむ笑顔が見られるなか、優勝から3位まで6ピン差と白熱したボウリング大会となった。



[成績]2ゲームトータルピン数

優勝	小山鋼材	洪木 幸男	340ピン
準優勝	鐵鋼社	山崎 匠巳	335ピン
3位	日立金属工具鋼	藤岡 健	334ピン

九州ステンレス流通協会との共催で福岡タワー周辺の清掃活動の後、ソフトバンクVS西武の野球観戦を行った。残念ながらホークスは敗けてしまったが、打撃戦となり大いに盛り上がり、楽しい一日を過ごした。



平成26年度 「特殊鋼販売技士1級」資格認定式



全特協では平成27年5月12日(火)、東京・鉄鋼会館において特殊鋼販売技士1級の資格認定式を開催した。6日間計14時間におよぶ講義と3月25日(水)の検定試験を経て、新たに認定された有資格者は137名(東京支部42名・大阪支部34名・名古屋支部24名・北関東支部9名・九州支部15名・広島地区13名)。そのうち、女性合格者は19名で前回比率6%から14%と大幅アップしたのも特徴だった。

認定式では、山陽特殊製鋼の岩倉卓也氏(東京)、三和特殊鋼の中野由教氏(大阪)、井上特殊鋼の菜畑辰文氏(名古屋)、佐久間特殊鋼の宮本恵二氏(北関東)、井上特殊鋼の中野亜希子氏(九州)、南海鋼材の増田厚子

氏(広島)が各支部を代表して佐久間会長より資格認定証を授与され、平井の山本健太氏が合格者を代表して答辞を述べた。認定式終了後は祝賀懇談会が開催され、合格者をねぎらうとともに業界内の若手人材の交流も図られた。

会長あいさつ



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会
会長 佐久間貞介

この1級資格は、皆様もご存じのとおり特殊鋼販売技士制度の中でも最上級の資格です。特殊鋼を販売するために必要な、特殊鋼の特性やお客様へのクレーム対応、事故例に関する知識を取得するものであり、いわば特殊鋼のスペシャリストとして認定されました。構造用鋼、工具鋼、ステンレスという各分野で高度な専門知識を身に付けられた皆様は、1級資格認定者としての誇りをもっていただき、今後の特殊鋼業界を担う専門家として、ますますのご活躍を期待します。

講評



検定試験委員会
委員長 飯久保知人

3～2級では特殊鋼の基礎知識や熱処理の特性などを学んだ上で、1級はユーザーがどんな加工をして使い方によってはどんなトラブルが発生して、それに対する対処や提案を学ぶというものなので、難しい内容をクリアして合格されました。ただ、これですべての知識が身に付き、どんな問題解決も可能かといえば、あくまでも座学の知識です。実際の仕事に活用していくためには今日がスタートラインで、本当の意味のスペシャリストになるべくがんばってください。

祝賀懇談会あいさつ



副会長 湊義明

1級合格おめでとうございます。これから業務に携わっていく上で、大きな自信になると思いますが、例えば熱処理あるいは材料特性など実践で生きた特殊鋼の知識を磨いていただき、さらなるステップアップをめざしてください。

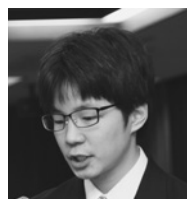
ご来賓祝辞



経済産業省製造産業局鉄鋼課長
山下隆也 様

日本の鉄鋼業を支えている、いわゆる高級鋼のうち、その多くは特殊鋼です。特殊鋼は製造技術だけでなく、それを扱う皆様も高度な知識を有する必要があります。まさに、皆様方が流通に携わりながら基礎的な知識のみならずアドバンストな知識を取得され、今後それを活かしてご活躍されていくということが、全特協の人材育成事業の特筆すべきところであり、日本の鉄鋼業の誇るべき成果のひとつと実感しています。

答辞



資格認定者代表
(株)平井 山本健太

今年度はアベノミクスによる景気対策の効果により、当業界にも間接的に好影響が期待されています。しかし、中国をはじめとする新興国の経済成長率の減速、欧州経済の不安定さ、過激派組織ISの脅威など国際情勢は不安定で、国内経済に与える影響も大きく、当業界にとっても先行き不透明な情勢が続くと考えられます。この不透明の時代を勝ち抜くためには、お客様と情報交換を密にし、先んじてお客様のニーズにお応えできるよう、今回の講義で学んだ特殊鋼の特性と事故例の知識を礎に、より高い知識を身に付け、トラブル対応は勿論のこと、新しい商品をご提案できるよう、そして、お客様から信頼される営業マンを目指してまいります。

副会長 福原實晴



1級資格は、“なんでもできる”最高資格です。特殊鋼メーカーの技術サービスの先生と変わらない知識の持ち主で、1級合格者ならどこでも講義ができるくらいです。それぐらい1級はすごい資格なので、これから皆さんには資格をたくさん活用してほしい。社内でもお客様先でも、どんどんハガネの話題を出して、「分からないことがあればメールをください、お答えします」というぐらいに自慢して世の中のために役に立てください。

平成26年度「特殊鋼販売技士1級」合格者名簿

平成26年度 特殊鋼販売技士1級合格者数

支部名	受験者	合格者
東京	53	42
大阪	47	34
名古屋	42	24
北関東	12	9
九州	16	15
広島	15	13
合計	185	137

■成績優良者：11名

〔東京支部〕	
岩倉 卓也	山陽特殊製鋼(株)
藤田 和之	(株)西山商店
〔大阪支部〕	
中野 由教	三和特殊鋼(株)
野原 慶	大同特殊鋼(株)
〔名古屋支部〕	
菜畑辰文	井上特殊鋼(株)
〔北関東支部〕	
宮本 恵二	佐久間特殊鋼(株)
〔九州支部〕	
小西 勇樹	シバタ精機(株)
池永 祐一	〃
柴田亜希子	〃
吉田 好秀	〃
〔広島地区〕	
増田 厚子	南海鋼材(株)

平成26年度 特殊鋼販売技士1級 合格者名簿

東京支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者32名	
柴田雄一朗	愛知製鋼(株)
竹内 菜見	〃
戸谷友香理	浅井産業(株)
宇田川福治	東金属(株)
相澤 一輝	井上特殊鋼(株)
飯島 剛	〃
井芹 修一	〃
上杉 一司	〃
上西 宏治	〃
片岡 香織	〃
大堂 雄太	〃
森山 裕太	〃
小松 周平	碓井鋼材(株)
阿部 真弓	岡谷鋼機(株)
和田 達也	〃
岩倉 卓也	山陽特殊製鋼(株)
橋本 健司	〃
花見 崇	第一熱処理工業(株)
緒方 卓	大同特殊鋼(株)
田嶋らうら	〃
藤野 淳	〃
内藤 啓介	大洋商事(株)
佐藤 浩平	中川特殊鋼(株)
大伍沙保里	〃
曾我 知矢	〃
松見聡一郎	日鉄住金物産(株)
福本 真司	(株)平井
山本 健太	〃
塚田 巧己	藤田商事(株)
折原 光則	(株)マクスコーポレーション
藤城 経真	〃
眞鍋 裕介	(株)ヤマコー

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者3名	
笹井万友美	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
藤倉 祐一	高周波精密(株)

一村 春樹 大同特殊鋼(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

合格者7名	
土屋 裕美	下村特殊精工(株)
松井 優亮	中川特殊鋼(株)
藤田 和之	(株)西山商店
山岸 清史	日立金属アドメット(株)
小泉 裕貴	(株)プルータス
田中 慶太	〃
松島 由宣	〃

大阪支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者19名	
小笹 愛斗	井上特殊鋼(株)
坂本龍太郎	〃
北川 俊郎	近江鍛工(株)
橋本 将平	カネヒラ鉄鋼(株)
吉崎 有浩	山陽特殊製鋼(株)
中川 順介	JFE商事(株)
桐山 雄介	大同特殊鋼(株)
南野 裕城	太平鋼材工業(株)
仲村 隆紀	〃
廣岡 誉健	(株)天彦産業
呂 維超	中川特殊鋼(株)
飯石 文晴	日鉄住金物産(株)
増田 高遠	日鉄住金物産特殊鋼西日本(株)
浅原 治	白鷺特殊鋼(株)
近藤 祐輔	(株)阪神メタリックス
松本 純孟	阪和興業(株)
有留 健	古池鋼業(株)
西浦 修平	(株)堀田ハガネ
若松 健一	(株)ミヤジマ

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者4名	
兼田 優	青山特殊鋼(株)
有馬 章悟	扇鋼材(株)
中野 由教	三和特殊鋼(株)
寺尾 隆司	大同興業(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

合格者11名	
辻井 譲二	サントク精研(株)
森永 高広	大同興業(株)
澤柳 健一	〃
山岸 聡	〃
野原 慶	大同特殊鋼(株)
岩崎 美里	〃
奥 弘史	田島スチール(株)
米田 知浩	〃
笹野井亮介	松井鋼材(株)
村田 純平	陽鋼物産(株)
寺山 勝紀	〃

名古屋支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者12名	
千葉 祥悟	愛鋼(株)
梶川 貴雄	浅井産業(株)
齊藤 和希	〃
江崎 善彦	(株)岡谷特殊鋼センター
中島 和宏	〃
寺本 大介	(株)交邦磨棒鋼センター
佐坂 英昭	JFE商事(株)
樋口 龍太	大同興業(株)
森 啓輔	〃
山田 勝史	孟鋼鉄(株)
奥村 健一	司精鋼(株)
坂田 明彦	(株)名岐

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者5名	
神宮 亮太	浅井産業(株)

高木 亮	〃
川端 宣嘉	ウメトク(株)
山中 克茂	加藤鋼材(株)
平井 学	名古屋特殊鋼(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

合格者7名	
菜畑 辰文	井上特殊鋼(株)
香村 隆俊	佐久間特殊鋼(株)
西 洋史	〃
堀江 剛史	〃
小暮 佳孝	(株)大同分析リサーチ
飛田 恵	〃
若山 智人	(株)武田機械

北関東支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者5名	
齋藤 翔平	井上特殊鋼(株)
鈴木 一正	〃
鈴木 淳也	碓井鋼材(株)
宮本 恵二	佐久間特殊鋼(株)
林 憲一	阪神特殊鋼(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者4名	
木林 潤	(株)カムス
大久保道夫	〃
太田 正成	日立金属工具鋼(株)
高相 陽輔	〃

九州支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者10名	
勝原 英治	井上特殊鋼(株)
中野亜紀子	〃
山本 美帆	〃
橋本 敦	〃
荒池 大輔	〃
道上 雄太	ウメトク(株)
栗元 秀和	〃
日野 政和	佐藤商事(株)
榊原 正幸	シバタ精機(株)
野村 果代	〃

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者5名	
小西 勇樹	シバタ精機(株)
池永 祐一	〃
柴田亜希子	〃
吉田 好秀	〃
立川由紀子	日立金属工具鋼(株)

広島地区

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

合格者11名	
井元 恒	井上特殊鋼(株)
大垣 和志	〃
原田 清和	〃
原 央也	〃
原田 真実	〃
岡田 準	〃
黒河 雅文	〃
古川 哲	〃
南部 晃史	〃
室井 友里	〃
陶山 明代	鎌田特殊鋼(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

合格者2名	
吉村 直樹	ウメトク(株)
増田 厚子	南海鋼材(株)

[シリーズ連載] 第7回 ウメトク株式会社 いま世界へ！各社が取り組む海外展開事例

国内の消費不振に加えて、輸入鋼材の調達が一般化するなど特殊鋼の国内需要が頭打ちとなる中、数年前の為替変動を契機に、自動車部品を中心としたメーカー各社の海外生産シフトが続いている。そうした背景から、総合商社だけにとどまらず特殊鋼流通各社も規模の大小を問わず、海外に拠点を展開することが顕著になっている。海外展開にあたり留意点は何か。シリーズ第7回は、1979(昭和54)年に業界に先駆けタイ現地法人を設立し、5カ国11拠点と旺盛な海外事業を展開するウメトクの福島正彦社長にお話をうかがってみた。



取締役社長
福島正彦

販売と熱処理・機械加工を一体化した ハガネ屋の使命にこだわり続ける海外事業を展開

東南アジアでは販売だけでなく加工でも現地工業界の先陣を切る

1947(昭和22)年に特殊鋼専門商社「梅田工業」として創業したウメトクは、先代が戦前に欧州メーカーに勤務していたという経歴から、設立時に海外製品を輸入する「海外部」を設けるなど、早くから海外展開への知見とマンパワーがあった。

そうした背景から、1979(昭和54)年にはタイで自動車や自動車部品、電子部品などの日系メーカーに特殊鋼製品を供給する「ウメトク・タイランド」を設立。業界を先駆けたということでは、材料供給だけでなく熱処理や機械加工という、特殊鋼のトータルエンジニアリングを海外ではじめたことも業界のトップランナーである。

1985(昭和60)年にはタイ初となる真空熱処理加工に着手するため、「ウメトク・タイランド・エンジニアリング」を設立。「当時のタイでは真空焼入れという技術が一般化しておらず、真空焼入れの輸入税免除のための申請で理解が得られなかった。そのため、現地トップの大学教授と連携して説明にあたり認可を取り付けた」と、福島社長は当時のエピソードを振り返る。

特殊鋼には欠かすことのできないアフターケアとして、熱処理をはじめとしたエンジニアリングで現地需要家に応えていく。そうした流通商社としてのスタンダードを、いち早く海外でも確立するとともに、東南アジア工業界の進歩を担ってきた日系企業の中核としてウメトクの海外事業の歴史がある。

エース級を大胆に海外派遣 理系専門家を重視した人材配置

タイ現地法人を皮切りに、1992(平成4)年には「ウメトク・マレーシア」を設立し、6年後には熱処理工場も開設。はじめに販売会社を立ち上げてからユーザー動向を見極め、数年以内にはエンジニアリングを開始するというのがタイ以来の「ウメトク流」で、2003(平成15)年の上海、2005(平成17)年の天津も同様の経過をたどる。

こうしたウメトクの海外事業のコンセプトは、あくまでも「国内事業の延長線上にある」という考え方。素材供給だけにとどまらず、熱処理や表面処理から機械加工までのアフターケアが欠かせない特殊鋼製品で、「総合商社とは異なる流通商社としてのアイデンティティーにこだわる」と福島社長は力説する。

創業時からの海外事業への知見に加えて、国内事業でも早くから工学部冶金科卒の人材を中核に熱処理を行ってきた実績も海外事業に活かされている。

「エンジニアリングも営業も最低限、材料特性を理解している人材をあてている。専門家が管理をやっていることは海外需要家にも信頼感が大きい」と福島社長。海外へは国内のエース級を送り込むというのもウメトク流で、「海外へ派遣する社員は拠点ごと3名程度。語学、折衝力、危機管理など一人あたりが担う責任は大きい。国内は『エースがいなくなると困る』と言うが、当社の拠点がある北海道から九州まで飛行機で2時間。国内はみんなで助

け合えばいいんですよ」と福島社長は豪快に笑う。

今夏からインドネシアでも 販売・加工の両輪が本格稼働

現在、グループ全体の約15%の売上を担うウメトクの海外事業だが、インドネシアでの将来的な自動車需要を見込み、2012(平成24)年に設立されている「ウメトク・インドネシア」と連携しながら熱処理・表面処理を行う「ウメトク・インドネシア・エンジニアリング」を昨年3月に設立した。すでに設備搬入・試運転も行われ、この8月をめどに本格稼働に入る予定だ。

「今後も、取引のある自動車関連メーカーの海外展開に沿って考えていく。やはりニーズがあってこそその事業。ユーザーとともに「歩きながら考える」のが基本。熱処理から機械加工など加工まで携わる「ハガネ屋」としての使命にこだわりたいですね」(福島社長)

成長著しい東南アジア市場で、臨機応変かつ柔軟に、そして手堅い対応を続けるウメトクに今後も目が離せなさそうだ。



西ジャカルタ州ブカシ県に開設した「ウメトク・インドネシア・エンジニアリング」

理事会・委員会報告

■理事会

○第6回理事会

日時：平成27年3月26日 16:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：第1号議案 平成27年度事業計画書(案)承認の件
第2号議案 平成27年度収支予算書(案)承認の件
第3号議案 理事の辞任について承認の件
第4号議案 会員の入会について承認の件
第5号議案 協会の支部組織変更について(審議事項)
報告事項：①委員会報告について
②今後のスケジュールについて
各種支援策：(資料)省エネ補助金の募集開始について
(資料)福島県への企業立地について
(資料)「下請けかけこみ寺」のチラシ

○第7回理事会

日時：平成27年5月12日 15:30～16:30 於：鉄鋼会館
内容：第1号議案 平成26年度事業報告書(案)承認の件
第2号議案 平成26年度収支決算書(案)承認の件
第3号議案 第3回定時総会の招集及び決議事項承認の件
第4号議案 会員の入会に関する承認の件
第5号議案 協会創立20周年記念行事に関する件
報告事項：委員会報告について
情報提供：電力・ガスなどのエネルギー市場の自由化について
「夏の生活スタイル変革」に関する要請書について

■運営委員会

○第8回運営委員会

日時：平成27年3月26日 14:00～15:30 於：鉄鋼会館
内容：①平成27年度の事業計画と同年度の収支予算について
②収支改善計画について
③協会の支部組織について
④新規会員募集及び会費制度について
⑤第3回定時総会への参加要請について
⑥支部報告について
⑦その他 今後のスケジュールについて

《配布資料》

- 省エネ補助金の募集開始について
- 福島県への企業立地について
- 「下請けかけこみ寺」のチラシ

○第9回運営委員会

日時：平成27年5月12日 14:00～15:30 於：鉄鋼会館
内容：①平成26年度の事業報告と同年度の収支決算について
②第3回定時総会に於ける議案について
③組織規程の変更について(支部組織の検討について)
④会員状況について(中国地域の会員参加について)
⑤会費制度における従業員の教え方について(経過報告)
⑥協会創立20周年記念事業について
⑦支部報告について
⑧その他

■総務委員会

○第6回総務委員会

日時：平成27年3月16日 14:00～16:00 於：鉄鋼会館
内容：①平成27年度の事業計画及び収支予算について
②収支改善計画について
③新規会員募集及び会費制度について
④協会の支部組織について
⑤会員名簿の作成及びメール通信等情報網の確立について
⑥第3回定時総会への参加要請について
⑦会員の入退会について
⑧その他

○第7回総務委員会

日時：平成27年4月28日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：①平成26年度の事業報告及び決算について
②支部組織の運営について
③協会創立20周年記念事業について
④会員制度における従業員の教え方について
⑤第3回定時総会の開催内容について
⑥その他、事務局報告(次回理事会等の開催について)

■人材育成委員会

【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

○第29回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成27年3月3日 14:00～17:00 於：安保ホール
内容：①第6回人材育成委員会議事録報告について
②第28回WGの議事録報告について
③指導要領データのメンテ作業の枠組みについて
④PPTデータのコピーの配布及び検定試験問題のオープン化可否について

○1級合否判定会議

日時：平成27年4月8日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：①特殊鋼販売技士「1級」合否判定
②講師講評
③検定試験委員長総評
④人材育成委員長コメント

○3級講師事前打合せ

日時：平成27年4月21日 15:00～16:40 於：鉄鋼会館
内容：①平成27年度人材育成事業年間予定等について
②平成27年度3級研修講座の講師事前打合せ
③その他

○特殊鋼販売技士1級資格認定式

日時：平成27年5月12日 17:00～17:30 於：鉄鋼会館
内容：①経済産業省製造産業局：山下鉄鋼課長御挨拶
②特殊鋼販売技士1級資格認定証授与

○3級問題選定会議

日時：平成27年6月5日 15:00～16:40 於：鉄鋼会館
内容：①特殊鋼販売技士3級検定試験の試験問題概要について
②採点依頼について
③検定試験、合否判定会議のスケジュールについて

○第1回教材レビューワーキンググループ

日時：平成27年6月29日 13:00～16:00 於：安保ホール
内容：①第29回指導要領作成WGの議事録報告について
②販売技士1級のPPTデータのメンテナンスについて

■調査研究委員会

○第8回調査研究委員会

日時：平成27年3月17日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：①第72回(10-12月)景況アンケート調査報告
②第73回(1-3月)景況アンケートの設問について
③第13回経営環境に関するアンケートの調査結果報告について
④平成27年度事業計画(案)及び予算(案)について

○第9回調査研究委員会

日時：平成27年6月24日 15:00～17:00 於：安保ホール
内容：①第73回(1-3月)景況アンケート調査報告
②第74回(4-6月)景況アンケートの設問について
③平成27事業計画及び予算の報告について
④統計調査について
⑤次回委員会日程

■経営効率化委員会

○第4回経営効率化委員会

日時：平成27年5月18日 15:00～17:00 於：大阪鉄鋼会館
内容：①平成27年度事業計画及び予算について
②今後の経営効率化新事業の検討について
③次回委員会日程について

■広報委員会

○第7回広報委員会

日時：平成27年7月7日 15:00～17:00 於：大阪鉄鋼会館
内容：①広報誌「すていーる56号」の校正・確認
②広報誌「すていーる57号」の内容検討について
③平成27年度事業計画及び予算について
④その他

■青年部会

○第6回青年部会運営委員会

日時：平成27年3月13日 15:30～16:20 於：熊本市内ホテル
内容：①平成27年度青年部会総会の日程、内容について
②平成27年度事業計画(案)及び予算(案)について
③はがねの日アビール用小物の作成について
※運営委員会に先立ち、ヤマハ熊本プロダクツ(株)の工場見学会実施

○第3回青年部会総会(併第7回運営委員会)

日時：平成27年6月11日 19:00～19:40 於：バンコク市内中華レストラン
内容：①第1号議案 平成26年度事業報告及び収支報告承認の件
②第2号議案 平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
③第3号議案 運営委員の選任(案)承認の件
④第4号議案 顧問及び特別顧問(候補)承認の件

事務局だより

1 「トルコ&ギリシャ特殊鋼関連業界視察研修」参加17名を予定(内外交流委員会)

当協会の内外交流委員会では、今年度も海外視察研修として9月15日より5泊8日の日程でトルコ&ギリシャを訪問することになりました。

6月8日より募集を開始し7月1日に締め切った結果、17名が参加することになりました。

2 特殊鋼販売技士「2級研修講座」の開講について

平成27年度は特殊鋼販売技士研修制度として4月の「入門編講座」からスタートし、5～7月に「3級研修講座」を開講致しました。

そして、7月8日全国一斉に「3級検定試験」を実施し、325名の資格認定者が新たに誕生しております。

また、8月下旬～10月に掛けて「2級研修講座」を各支部にて開講する予定です。研修内容は特殊鋼の鋼種別熱処理に関する基礎知識についてであり、30時間の研修講座にて習得した後、10月21日全国一斉に検定試験を実施する認定制度になっております。受講資格は、昨年度以前に「3級研修講座」を受講し「3級資格認定」を有する者となっております。

現在、東京・大阪・名古屋・北関東・静岡の支部事務局より開講のご案内をしておりますので、受講を希望される方は開講予定の各支部事務局へお申込みください。

3 協会事務局(本部及び東京支部)の事務所移転

東京・鉄鋼会館5階の協会事務局は、同じ鉄鋼会館の1階に引越し8月3日(月)より新事務所にて業務を開始しました。

新事務所は少しコンパクトになり、いままでどおり特殊鋼倶楽部さんとは同室となっております。電話番号やFAX番号は従来と変わりません。

会員の皆様も真新しい新事務所には是非ご来所下さい。職員一同お待ちしております。

4 統計調査のメール配信について

当協会からの「特殊鋼流通調査集計表」は現状郵送を利用していますが、希望される会員各位にはメールでの配信及び返信にシフトして参ります。メール配信を希望される方は以下の書式にてご送信下さい。

但し、配信先は1会員(含む支部会員)につき1件とさせていただきます。

件名：統計調査 宛名：toukei@zentokkyo.or.jp

なお、メール配信を希望されない方は従来通り郵送にて送付させていただきます。

編集後記

会員、賛助会員の皆様方!!! 暑中お見舞い申し上げます。スチール56号を発行致します。

さて、今号は全日本特殊鋼流通協会第3回定時総会の模様を中心にお伝えしております。佐久間会長が協会の発展を強く望まれ、実践していこうという意気込みがひしひしと伝わってきます。また、幹事役の名古屋支部、九州支部の皆様ご苦勞様でした。続いて中国支部が発会したことも、当協会にとって大変喜ばしいことと感じています。各社が取り組む海外展開も続けて掲載予定です。楽しみにして

いてください。

7月からギリシャ、中国問題と日本経済にも影響が出てきてます。特殊鋼業界も若干低迷しているようです。業界で一致団結して乗り越えていきましょう。

2020年オリンピックイヤーに向けて景気は上向くはずですが、今後とも全特協へのご支援の程よろしく願います。

酷暑が続きます。どうかお身体御自愛ください。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／久木田 至